

## 鶴川図書館大好き！の会 第2回ワークショップ

記録：西川春菜

日時：2021年6月19日(土) 14:00-16:00

場所：オンライン (zoom ミーティング)

参加者：手嶋、守谷、清水、T、鈴木、藺田、富岡、奥澤、庄司、高橋、西川 (11名)

※以下、ワークショップ=WS と記載 敬称略

パワーポイント画面を使って、第1回WS(4月29日)振り返りをしたのち、会として今後市との交渉をどうするかということと同時に今できることを進めるということでも話合った。

① 現在進んでいるイベントについて・・・2つあるがどちらも地域の子どもたちのためのイベント。

☆「だんちでえほん」絵本の読み聞かせ会 (6/27, UR 都市機構の企画。鶴川団地商店街の広場(雨天時：団地の集会所)、共催：YADOKARI 株式会社、鶴川団地自治会、鶴川団地名店会、町田市、BOOK TRUCK、鶴川図書館大好き！の会。演者は、2名のコミュニティービルダー(鶴川団地住民や町田市民を繋げる為に新たに団地に家賃無料で住まう人たち)と、当会から高橋さん(第1回WSに参加した高校生の方)親子と鈴木が参加予定。・鶴川図書館も選書で協力。

☆当会の夢基金助成活動<図書館大好き大作戦>第2回小学生のための紙芝居ワークショップ

- ・日時：8月3日(火)、6日(金)、8日(日) 10:00-12:00
- ・場所：鶴川5丁目集会所 ふれあいルーム
- ・つるかわ図書こ応援隊とのコラボ。

② 鶴川図書館について情報提供及び書庫の改善策

- ・予算について：2021年度は、図書館費自体が減らされており、鶴川図書館では、2021年度は6,397,000円で、2020年度に比べて11万円の削減。削減の主たるものは図書購入費。人員は変更なし。
- ・書庫の問題について：(見取り図を映しながら) コロナ以前は、ここでおはなし会をしていた。ここを活用するには、コロナ禍で、特に換気が問題である。窓はあるが、空気の流れが一直線ではなく曲がっており、換気、ほこりっぽさが課題。サーキュレーターなど利用して緩和するなどの方策がありえる。(後日、作業室の南側と東側に大きな窓があることや北側の入り口側に換気扇を取り付けられる窓もあることが判明、換気扇をつければ、換気の問題は解消できることが分かった。)

③ 広場を使っのイベントについて：

- ・商店会としては、夏祭りは中止、10月末バザーはコロナの情勢によるので、まだわからない。
- ・「だんちでえほん」のチラシを自分の塾で配布したら、興味を持った子どもがいた。小中高生に、イベントに参加するだけでなくボランティアの役割を与えると子どもたちは喜んでやったりする。親も地元の図書館に親しめる取り組みは喜んでいる。チラシだけ置くより、直接声掛けをすると参加する人が増えると思う。少なくとも数人は確実に参加すると思われる。

④これまでの経過を聞き、奥澤さんの意見や奥澤さんから見た他の自治体の状況を知りたい。

奥澤(都議会議員)：

◇パブリックなものを効率化させていくという状況は2000年頃からゆるやかに起きている現象。この観点から民間への委託が進んできた20年間である。

◇都として(公共施設を)再編しなきゃいけないという方針は、持っていない。区市町村のやることに対し、都として「ああしろ、こうしろ」とは、言っていない。

◇町田市の公共施設の再編計画は、効率化を目的に行っている部分が強すぎる一方、効率的でないこともやっている。

・サッカースタジアム：民間のお金が回っている業界（サッカー）のはずなのに、なぜ民間からの投資を得ないで公共のお金を使う（50億円かける、前回の市長選の公約）のか？

・国際工芸美術館：ガラス器など、見栄えがする、人が来るものだけそこに置き、（民具や土器などをなおざりにするのは）歴史・文化・伝統と相反している。

◇（町田市に対し失礼な言い方だが）これら（パブリックなものを効率化する、公共施設の再編計画）は、2000年初期の考え方で、都や他の自治体の方針に照らしてみても、時代の流れから遅れている。

◇効率的にやっていかなきゃいけないのはあるが、機能の縮小とか、2つあったものを1つにまとめようというのは危険な考え方だというのが私の考え。

#### ⑤園田から問題提起

◇第1回WS(4月29日)の結論・成果(私たちのパワー)をどう活用するかを考えたい。

◇図書館の運営者へ「私たちのWSではこういう議論をしました。町田市は私たちの市民参画に対し、いくら予算を出し、何人の人を出してくれるのか」というのを持って行って話し合いをしたい。市の図書館担当と話をする機会を作りたい。団体交渉をしないと。

◇手嶋：進める会として、町田市、館長との団体交渉はずっと申し入れている。忙しいという理由で実現していない。「話し合いをしないのか」と強く言っていきたい。

第1回のワークショップでどのように決まったのか？という質問に対し、園田が発言。

◇単純に言うと、市民が図書館のために参画する意志、用意、能力があるだろうとみんなで確認した。

◇市民参画のやり方については、（市民に図書館運営をする力があるという前提で）市民に全面的に任せるという意見があり、それに共鳴する人もいたが、図書館の全てを市民が支える力はない。大前提として、図書館は公的サービスだから、行政（町田市）が責任をもって役割を果たしていかななくてはならない、「町田市の直営を維持すべき」が大多数の意見だった（ただし、全員一致ではなかった）。

園田の意見：基本的には直営、市民が参画をして、予算や人を減らしたときに補うような、参加の仕方を考えよう。直営を維持しつつ、市民ができることはする。公立の図書館として維持する。

守谷の意見：固定的なサービスのところ（市民プールなど）は民間でもいい。指定管理だからすべてダメだとは私は思わないが、図書館は教育の場で、時代に合わせて成長していくもの。時代にあったサービスをしていく。こういう性格上、民間に丸投げするのではなく、町田市が責任をもって直営で運営すべき。

この後、2つのグループに分かれてグループディスカッション

#### 各グループのまとめ

①第1回WSの結論・成果を町田市に提言していく段階にきている。同時に、図書館応援まつりで、この内容をまつり参加者とシェアする。そのために図やイラスト入りのチラシ作成。

◇賛同する仲間を増やしていく活動をする。（例えば、旅する絵本、きんじょの本棚、久美堂「読育」イベントなどのプロジェクトと連携できるか探る）

◇市議の採点をする：過去に行った図書館に関する公開質問状や、公約に対して誠実であったか否かを検証して発表する。

◇選挙で「存続賛成 or 反対」を問うというのは一つのやり方ではないか。

②今後の鶴川図書館をどうするかについて、こちらから明確な提案をしていく必要がある。直営で、会計年度任用職員だけでやっていく（八王子や荒川のように）ことはどうか。一方で、会計年度任用職員だけでしていくと、今までの嘱託職員のように雇止めがないという形でない、ノウハウの蓄積ができるのかという問題がある。また、常勤で専門職制度を採用する必要性も考えたい。

②第3回図書館応援まつり等(秋に向けて)

◇高校生のボランティアに意欲のある子たちに参画してもらおう。高校生たちに「やりたいことない？」と振る。高校生たちが決めたことを大人が支える。

◇図書館のリサイクル本の活用。過去に実績もあり、工夫次第でやれないことはない。

◇子供向けのクイズはやったが、大人向けになにかできないか。クイズなど。

◇何かを作るワークショップ

◇ニュースポーツ

◇ブラスバンドや音楽系

◇自費出版の人たちを呼んで即売会をする。

◇図書館応援祭りだけど、本に関わるいろんな人を集める。(例えば、旅する絵本、きんじょの本棚、久美堂「読育」イベントなどのプロジェクトと連携できるか探る。)

③書庫の有効活用

◇通気(換気)問題に課題があり、暗い感じがするので、有効活用は難しいのではないか。

◇換気問題をクリアにして、コロナ前にやっていた、おはなし会、紙芝居、読み聞かせができればいい。

◇古本市をやる。

◇子どもが本に関する作業系のボランティアをやる場として活用。

④その他

◇障害者サービス(視覚障害の方向けが中心):中央図書館、鶴川駅前だけ。もっと各館に充実させると良い。

◇旅する絵本、きんじょの本棚、久美堂「読育」イベントなどのプロジェクトと連携した活動(仲間づくり)を探る。本を扱う人たちとの連携。

◇リアル本を買う人が減り、電子書籍を読む人が増えている。本を介したコミュニケーションが減っている。逆に、本を介したコミュニケーションの場(コミュニティ)としての図書館活用の展望があるのではないか。

3. 総括(第2回WSの収穫・決まったこと)

- ・ 第1回WS(4月29日)の成果のチラシの簡易版(みんなにわかる普及版)を作成。
- ・ 町田市に提言をしていく、その団体交渉の詳細を詰める(私たちの方向性を一致させる)。

4. 次回日程

7月半ば～後半に次回を行う(詳細は後日詰める)

以上

【脚注】

<sup>1</sup> BOOK TRUCK

<https://booktruck.shop/>

閲覧日:2021年6月22日

<sup>1</sup> 【YADOKARI×UR 都市機構】 団地の新たな魅力を発信する「未来団地会議 鶴川団地プロジェクト」2月9日コミュニティビルダー募集スタート | YADOKARI のプレスリリース

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000018.000013358.html>

閲覧日：2021年6月22日

コミュニティビルダーとは・・・次世代のまちづくり仕掛人として、地域の課題に寄り添いイベントやワークショップを通して、「人が繋がる場」や「コミュニティ」を創造し続ける存在。

【募集】2022年2月まで家賃無料！ 鶴川団地（東京都町田市）に住まいながら、YADOKARI と共に活動してくれるコミュニティビルダーを募集します！ - YADOKARI.net | 小屋・タイニーハウス・空き家・移住・コンテナハウスからこれからの暮らしを考え実践するメディア

<https://yadokari.net/recruit/70001/>

閲覧日：2021年6月22日

<sup>1</sup> 子どもゆめ基金

<https://yumekikin.niye.go.jp/>

閲覧日：2021年6月22日

<sup>1</sup> まちだ旅する絵本 | 絵本でつなぐ地域コミュニティ

<https://www.machidaehon.com/>

閲覧日：2021年6月22日

※奥澤さんにコネクションがあるそうなので、繋いでもらうことも可能かもしれない。

<sup>1</sup> きんじよの本棚

<https://kinjonohondana.studio.site/>

閲覧日：2021年6月22日

<sup>1</sup> 幼児・小学生対象の毎年恒例 人気「読育」イベント「よむよむ・わくわく広場」、2020年は町田で2月16日開催 | 一般財団法人 出版文化産業振興財団内絵本・日本プロジェクトよむよむ・わくわく広場 in 町田実行委員会のプレスリリース

<https://www.atpress.ne.jp/news/205691>

閲覧日：2021年6月22日

<sup>1</sup> 視覚障害者向けに音声読み上げをしてくれる眼鏡タイプの AI 機器があり、導入する自治体が出てきている。(おくざわさんより情報共有)

[https://www.jt-tsushin.jp/interview/jt21r\\_toshima/](https://www.jt-tsushin.jp/interview/jt21r_toshima/)